

埼玉県・オハイオ州スカラシップ<語学・大学留学コース>

令和3年度派遣レポート 1月

「春学期及びフィンドレーの気候について」

令和3年度奨学生 塚林光ジョナサン

春学期開始と履修登録について

フィンドレー大学では、春学期が1月10日から始まりました。国外から転入学する学生を除き、殆どの学生が秋学期中に春学期の履修登録を行います。各学生は入学時から担当アドバイザーと相談しながらオンラインで履修を希望する講義を選択します。その後、担当アドバイザーの認可を受けて、正式な履修登録が完了します。また登録した講義は一週間以内であればオンラインで履修をキャンセルすることができ、授業料も全額返還されます。私は前学期から引き続き、英語ライティング、アメリカ史、スペイン語を履修し、加えて今学期から文化人類学の講義を履修することにしました。文化人類学では文化人類学分野のみならず考古学など、他の分野の人類学の専門家や教授がゲストスピーカーとして招待され、幅広く人類学について学ぶことができます。

フィンドレーの冬

フィンドレーは1月から2月にかけてかなり冷え込み、積雪も時折見られます。2月9日現在、オハイオ州やミシガン州などの一部の地域で大雪警報が発令され、三段階の区分の内、最上位に位置する警報区分3に指定されました。

天候に関するオハイオ州での警報区分について説明します。オハイオ州悪天候対策委員会の公式サイトには以下のように掲載されており、3段階に分かれています。日本でも同様に警戒レベル区分がありますが、オハイオ州の警報区分は交通災害の危険度が判断基準になっているようです。これは米国や、特にフィンドレーのような車社会であることに起因していると考えられます。

警報区分1：道路は吹き溜まりや吹き溜まりの雪で危険な状態です。また、道路は凍結している可能性があります。運転される方は、十分に注意してください。

警報区分2：道路は吹き溜まりや雪が風で流れていて危険です。また、道路は非常に凍結している可能性があります。運転が必要と思われる方のみ、運転するように

してください。職場に出勤すべきかどうか、雇用主に問い合わせてください。ドライバーは細心の注意を払ってください。

警報区分3：すべての道路が、緊急事態発生時以外は閉鎖されています。運転による移動が絶対に必要であるか、緊急事態が発生しない限り、この状況下で運転してはいけません。すべての従業員は、職場に出勤すべきかどうか、雇用主に連絡してください。道路を走行する人は、逮捕される可能性があります。

フィンドレーでは警報発令時の積雪はそれほどの量ではありませんでしたが、風が非常に強く、大きな吹き溜まりが複数見受けられました。全ての講義が休講となり、オンライン授業も行われませんでした。多くのレストランやお店が閉店してもフィンドレー大学の食堂は営業しており、食事について心配することなく、とても助かりました。





窓から見える雪景色

埼玉県・オハイオ州スカラシップ派遣プログラムにご興味のある方や、フィンドレー大学について詳しく知りたい方は tsukabayashih@findlay.edu にお気軽にご連絡ください。留学や現地の生活についての悩みや不安を解消できればと思います。